

# 深浦マリキッズ 海洋自然学校

様々な体験活動を通じて、身近にある自然環境の素晴らしさや水産物の知識向上に努め、将来の後継者育成を目的としている深浦マリキッズ。

この活動のメインイベント「海洋自然学校」が7月27日から28日、2日間にわたって岡崎海岸と十二湖海浜公園にて行われました。

参加した24人の子どもたちは海の危険生物についての学習、基本動作など座学の後、インストラクターの指導のもとウェットスーツやマスク、フィンを装着し、シュノーケリングを体験しました。4班に分かれ目の前を泳ぐ魚を見たり、自ら潜水し岩陰に隠れたサザエや大きなヒトデを見つけたりと海とのふれあいや発見に大喜び。

今年は風が強くなる予報から開催が危ぶまれましたが、場所を変更するなどして実施。時折小雨が降る中でも透き通った海のシュノーケリングは子どもたちにとって、最高の思い出となったようです。「とても楽しかった。大きなクロダイが目の前を泳いでいて凄かった」などと、感想を話し2日間の海洋自然学校を満喫したようでした。

深浦マリキッズは今後、わかめの養殖体験など各種体験活動を続け、更なる知識向上を進めることとしています。



## 新しく来たALT（外国語指導助手）を紹介します!!



深浦町に新しくALT（外国語指導助手）のスカイ先生が着任しました。今年の7月から町内中学校を中心に英語の授業等で指導助手を務めており、保育園・小学校の英語を指導するテラ先生と2人体制となります。

この事業は、「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」といい、小中学生の国際感覚の育成や語学力の向上を目的として実施しています。

スカイ先生を紹介します。

氏名：Levin Sky（レヴィン スカイ）

国籍：アメリカ

趣味：カラオケ、武道

好物：すし、ピザ

深浦町のみなさんへメッセージ：深浦町のALTとして歓迎していただき、ありがとうございます。みなさんにお会いするのをとても楽しみにしていました。

深浦は、とても静かで心が和む場所です！ここに来ることができて本当に嬉しいです！

これからよろしくお祈りします！

## 塩辛作りに初挑戦

大戸瀬中学校の1年生10人が7月14日、塩辛作りに挑戦しました。塩辛作りの前に漁師の山下幸彦さんが講師として「深浦町の漁業」について、詳しく説明しました。その後家庭科室へ場所を移動し、新深浦町漁業協同組合北金ヶ沢女性部の皆さんとともに、塩辛作りがスタート。イカのさばき方や、ワタの取り除き方などを教えてもらい、悪戦苦闘しながらもみんなで作った塩辛が完成。味見をした生徒たちは「美味しい!」「ご飯が欲しい」など初めての塩辛作りに満足した様子でした。



真剣にイカの下処理の説明を聞く生徒

## お魚料理教室実施



大戸瀬中学校で今年度最初の3年生によるお魚料理教室が7月8日に行われまし。大戸瀬中学校では、新深浦町漁業協同組合のご協力のもと、「お魚料理教室」を年3回学年ごとに行っています。

メニューは、「イカ焼きそば・カワハギのフライ・シーフードサラダ・タコとわかめの酢の物・つるつるわかめのコンソメスープ」の5品です。包丁を使ってカワハギを三枚におろす作業も、3年目となると手順が慣れたもので、骨にはほとんど身が残りません。婦人部のみなさまにご協力いただきながら、5品すべてを完成し、生徒・教職員みんなで地元のお魚をおいしくいただきました。

## 白神岳避難小屋に新しい看板が

### 掛けられました

町は、白神岳山頂付近にある「白神岳避難小屋」にネーミングライツ制度を導入し、本年1月、応募があった弘前市の弘前倉庫(株)がネーミングライツパートナーに決定しました。新名称は「白神岳大周満天避難小屋」。大周はパートナー企業の創立以来の屋号であり、白神山地から日本海に向けて広がる大空や、深浦町の夜空に輝く満天の星をイメージして「大周満天」とネーミングしたそうです。このたび、観光課職員によって新しい名称の看板が避難小屋の入口に掛けられました。町は、ネーミングライツ料を基金積立し、避難小屋の維持管理に大切に使用していきます。



新名称「白神岳大周満天避難小屋」